

田久保友妃

TAKUBO YUKI

ヴァイオリン
リサイタル



-present-



賛助出演

厚味 聡子(ヴァイオリン)
清水 絵理(ヴィオラ)
名田 卓麻(チェロ)

2023年

3月31日

Fri

18:00 開演
(17:30 開場)

THE
MUSEUM
OF KYOTO

京都文化博物館 別館ホール



入場料

一般 2,500 円・学生 1,000 円(各当日500円増)

ご予約・お問い合わせ

s21809@st.kcua.ac.jp (田久保)

またはウェブサイト

yukitakubo.com から



～無伴奏ヴァイオリン独奏の世界～

J. P. v. ヴェストホフ：
無伴奏ヴァイオリンのための組曲ニ長調
(田久保友妃編)

Johann Paul von Westhoff: Suite for Violino solo 2 d. ar.

J. S. バッハ：
無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番
ニ短調より〈シャコンヌ〉

Johann Sebastian Bach: Partita No. 2 d. moll "Chaconne"

B. バルトーク：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ

Bela Bartok: Sonata for Solo Violin

中村典子：Water Bird (初演)

Noriko Nakamura: Water Bird for Solo Violin

～戦後から近代の日本の弦楽四重奏～

武満徹：ア・ウェイ・ア・ローン

Toru Takemitsu: A Way a Lone for string quartet

早坂文雄：弦楽四重奏曲

Hirosaki Hayasaka: String Quartet

後援：大阪音楽大学同窓会《幸楽会》・京都市立芸術大学音楽学部同窓会 真声会

※新型コロナウイルス感染対策へのご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、公演内容等を変更する場合がございます。

の音楽が好きだ。

「無伴奏」

ヴァイオリンの四弦だけで小さな世界を形成できるという、
ストイックかつ欲張りな要素に惹かれている。

無伴奏のヴァイオリン作品は数こそ少ないが名作に恵まれていて、
なかでもバッハの〈シャコンヌ〉は別格だ。子供の頃は、この曲さえ弾
けたら人生に悔いなし、と思っていた。大人になってからは、バルト
ークの《ソナタ》や早坂文雄の《String Quartet》もそこに加わる。

その憧れの作品群を一晩で弾いてみようという野望が、今回のリサイタルの
きっかけだった。

そして、取り組むうちにそれらが一本の糸で繋がっていることに気付く。

武満徹が師と仰ぎ多くの影響を受けた早坂文雄は、弦楽四重奏の作曲にあたり
バルトークの作品からも多くの要素を踏襲した。バルトークの無伴奏ソナタは、
とても近代的でありながら形式やポリフォニーの面でまさに「バッハに還れ」な作品。
そして、バッハは？

こんにち、「楽聖」と崇められ神格化されているバッハだが、彼の凄いところの一つは、
過去の作品から貪欲に学び自作に取り入れたことだ。彼はブクステフーデに傾倒し、ヴィヴァ
ルディの弦楽作品を鍵盤楽器のために編曲することで学んだ。そして、ヴェストホフの〈組曲〉が
バッハに与えた影響もかなり大きいと睨んでいる。

「無伴奏」と「カルテット」の織りなす一つの流れを描き出せたらと願い、このリサイタルを
「pre・send (現在の・贈り物・紹介する)」と名付けた。(田久保)

田久保友妃 (ヴァイオリン)

京都市出身。大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業、在学時明治安田生命クオリティ
オブライフ奨学生。現在、同大学演奏員。ヴァイオリンを阿部京子、橋本寿子、林泉、
宗倫匡、豊嶋泰嗣の各氏に師事。第53回なにわ藝術祭新進音楽家競演会出演。第
18回九州音楽コンクール金賞および最優秀賞、第20回「万里の長城杯」国際音
楽コンクール第1位および中華人民共和国駐大阪総領事賞受賞、第14・16回セ
リア国際音楽コンクール第3位、第19・21回大阪国際音楽コンクールエスポワ
ール賞受賞など、受賞多数。協奏曲ソリストとしては2013年にウクライナでデビュ
ーし、チェルニーゴフ・フィルハーモニーと共演を重ねる。幼少期よりジャズピ
アニストの父の影響でジャズ演奏にも親しみ、リーダーアルバム『MONA LISA』
はジャズライフ誌上に好評を得た。近年は無伴奏ヴァイオリン独奏作品の編曲・
研究にも取り組んでおり、17世紀のドレスデン宮廷楽団におけるヴァイオリン書
法の発展に関する論文を執筆している。日本音楽学会会員。



賛助出演

厚味聡子 (ヴァイオリン)

4歳よりヴァイオリンを始める。パリ地方音楽院 CPES 課程修了。
第10回関西弦楽音楽コンクール優秀賞および審査員賞受賞。第22回日本演奏家コンク
ール入賞。第23回長江杯国際音楽コンクール第2位。
第27回京都フランス音楽アカデミーにて Olivier Charlier 氏のマスタークラスを受講。
2017年ミュージカルブックス夏季国際アカデミーにて Alexis Garperine 氏のマスターク
ラスを受講、修了演奏会出演。これまでに清水恵、曾我部千恵子、谷本華子、Christophe
Poiget の各氏に師事。
現在京都市立芸術大学にて泉原隆志氏に師事。

清水絵理 (ヴィオラ)

奈良県出身。5歳よりヴァイオリンを始める。2008年より
6年間、相愛大学附属音楽教室及び相愛ジュニアオーケ
ストラにて学ぶ。帝塚山高等学校を経て、京都市立芸術大学
弦楽専攻卒業。現在、同大学大学院修士課程器楽専攻2回生。
第28回日本クラシック音楽コンクール 大学の部全国大会
入選。第12回バーテン音楽コンクール弦楽器部門第4位。
ヴァイオリンを佐藤恵梨、五十嵐由紀子、豊嶋泰嗣の各氏
に、ヴィオラを山本由美子氏に師事。

名田卓麻 (チェロ)

大阪府出身。5歳よりピアノ、12歳よりチェロを
始める。
京都大学文学部アメリカ文学専修を卒業後、京都市
立芸術大学に入学。これまでにチェロを古川真
差男、ドナルド・リッチャー、現在向山佳絵子の
各氏に師事。
京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を今春卒業。

